

経営統合に関する基本合意書の締結について

2022.7.27

RIKEN

株式会社リケン

代表取締役社長(CEO兼COO)

前川 泰則

NPR

日本ピストンリング株式会社

代表取締役社長

高橋 輝夫

Contents

- I. | 統合の目的**
- II. | 統合によるシナジー**
- III. | 統合スキーム等**

I. 統合の目的

I. 統合の目的

経営統合の意義

RIKEN

NPR

経営理念

- 私たちは地球環境を守り、**社会に貢献する企業市民**であり続けます
- 私たちは**株主の資本を効率的に活用し、グローバルに企業価値を創造**します
- 私たちは知識の向上と技術の革新を心がけ、**世界のお客様に感動を与える製品**を提供します
- 私たちは**高い志と広い視野を持って、常に変革を遂げ**ていきます

高い親和性

- **顧客第一主義**の考えに立ってすべての物事を進める
- 環境の変化に柔軟に対応し適切な利益を確保して**株主をはじめ関連先に報恩**する
- 社会との調和をはかり、**ワールドワイドな総合部品メーカーの地位を確保して人類の進運に寄与**する
- 常に**革新と業績の向上に努め**て会社の繁栄を図り社員の生活向上を築き上げる

成り立ちと現在

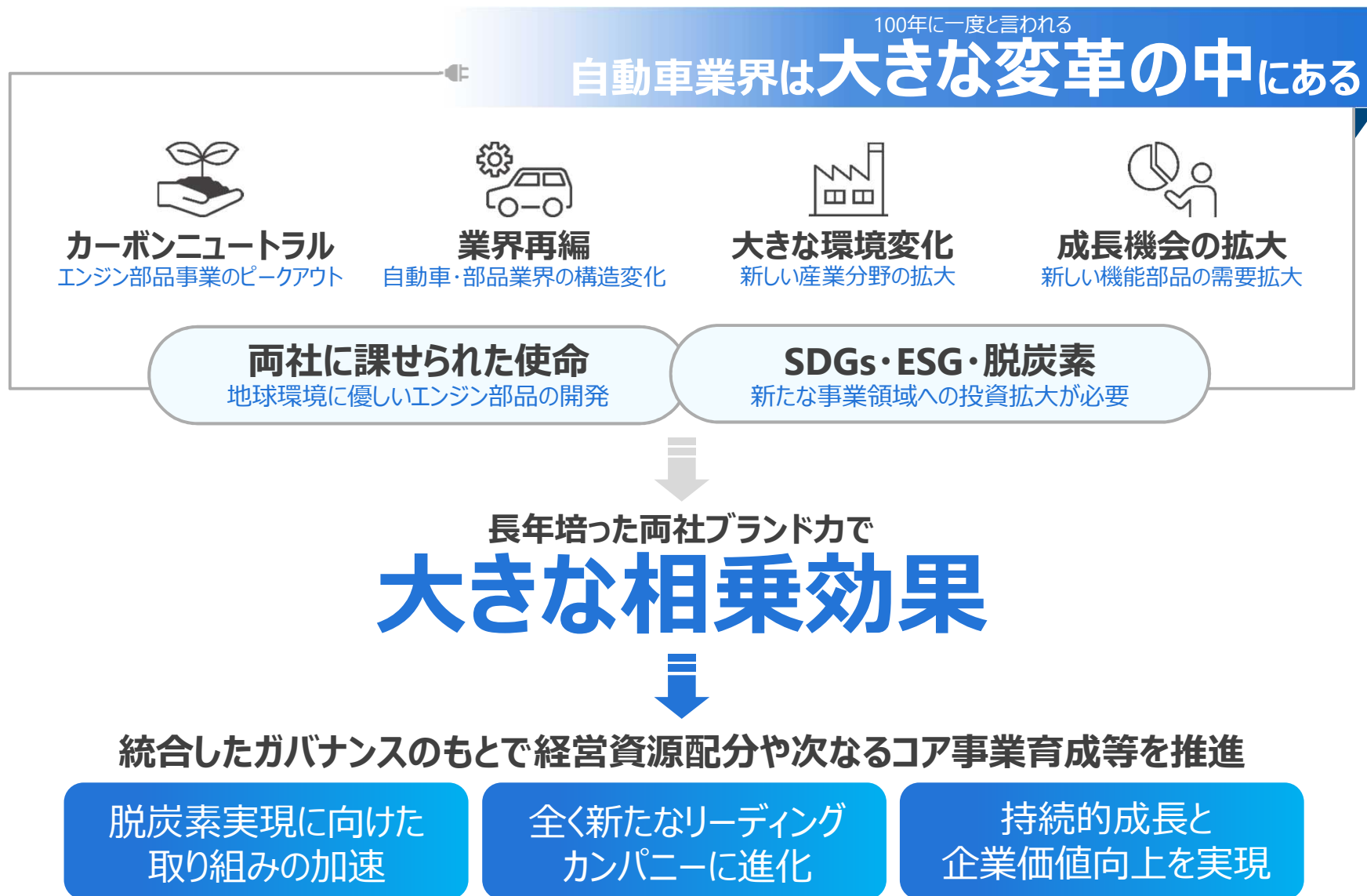
- 理化学研究所の研究成果事業化を目的に1927年に創業
- 創業以降、主力のピストンリング等において表面処理技術、加工技術、材料技術の研鑽を続け、90年以上にわたり**世界自動車業界の発展に貢献**

同業・補完関係

- 1934年に設立、国産ピストンリング量産化に成功
- ピストンリング、バルブシート、カムシャフト等の内燃機関部品を中心に、独自技術を活用し、高機能かつ高品質の製品を供給し、**世界のモータリゼーションの進展に貢献**

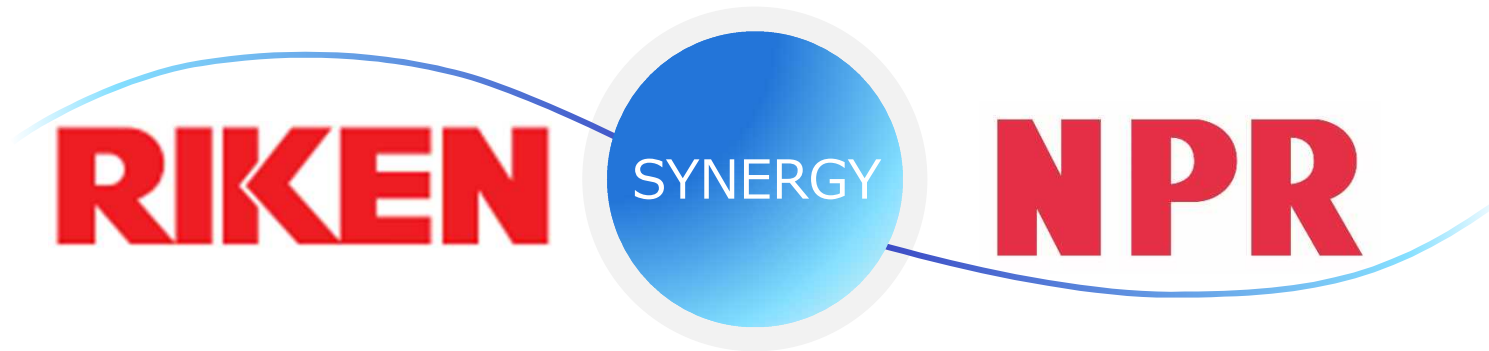
I. 統合の目的

経営統合の背景



II. 統合によるシナジー

想定されるシナジー



1 経営リソースシフトによる既存事業の強化・次なるコア製品開発の早期実現

- 設備投資の濃淡調整、生産最適化、開発テーマの集中等を推進 ⇒ 既存事業のキャッシュフロー創出力強化
- 既存事業効率化 ⇒ 経営リソースの大胆なシフト ⇒ 次なるコア事業・新製品創出

2 スピードを増す脱炭素化社会への対応力強化

- 製品の脱炭素化を加速
- サプライチェーン全体を視野に入れた二酸化炭素排出量削減への積極的な取り組み
- サステナブルな社会の実現に積極的に貢献

3 インフラを含むリソースの共同利用によるコスト削減

- サプライチェーン全体における生産性向上
- 内製プロセス共通化による外部流出費用削減、共同購買による調達費用削減、重複するシステムや間接業務などの効率化

4 製品相互補完等による生産効率化を通じた製造コスト削減、供給責任への適時適切な対応

- 生産拠点最適化を進め、大幅な生産性改善、高品質品を供給可能な体制拡充、固定費削減を実現
- サステナブルな生産体制確立を通じ、お客様に対する供給責任を適時適切に果たす

5 人や技術の交流を通じた人的スキル高度化

- 知見や技術の積極的交流を通じて、双方の強みを生かし「新しいアイデア」が生まれる機会を様々な分野や職階で提供
- 従業員エンゲージメントがよりいっそう高まる職場環境の実現

II. 統合によるシナジー

1. 経営リソースシフトによる既存事業の強化、次なるコア製品開発の早期実現

- 設備投資の濃淡調整、広範囲な生産最適化、開発テーマの集中等を推進
- 既存事業効率化を通じ、次なるコア事業・新製品分野に経営リソースを大胆にシフト

RIKEN

次世代コア製品の芽を多数創出

熱エンジニアリング事業	EMC事業
水素・新エネルギー事業	次世代新事業（非ICE事業）

×

NPR

新製品事業の育成・確立

医療機器事業
電動化・ロボット事業
モータ事業

2. スピードを増す脱炭素社会への対応力強化

- 環境性能に優れた製品による脱炭素化への貢献
- サプライチェーン全体を視野に入れた二酸化炭素排出量の削減にも積極的に取り組み、サステナブルな社会の実現に積極的に貢献

RIKEN

NPR

カーボンニュートラル(CN)貢献

- ICEの燃費(環境負荷)低減に貢献
- 新世代ICE対応部品の開発、製造(水素、アンモニア等)
- 熱エンジニアリング製品事業拡大(化石燃料の燃焼加熱⇒電気加熱)
- EMC事業：eチャンバー等EV対応製品
- 木質ペレット：地産地消による地域共生

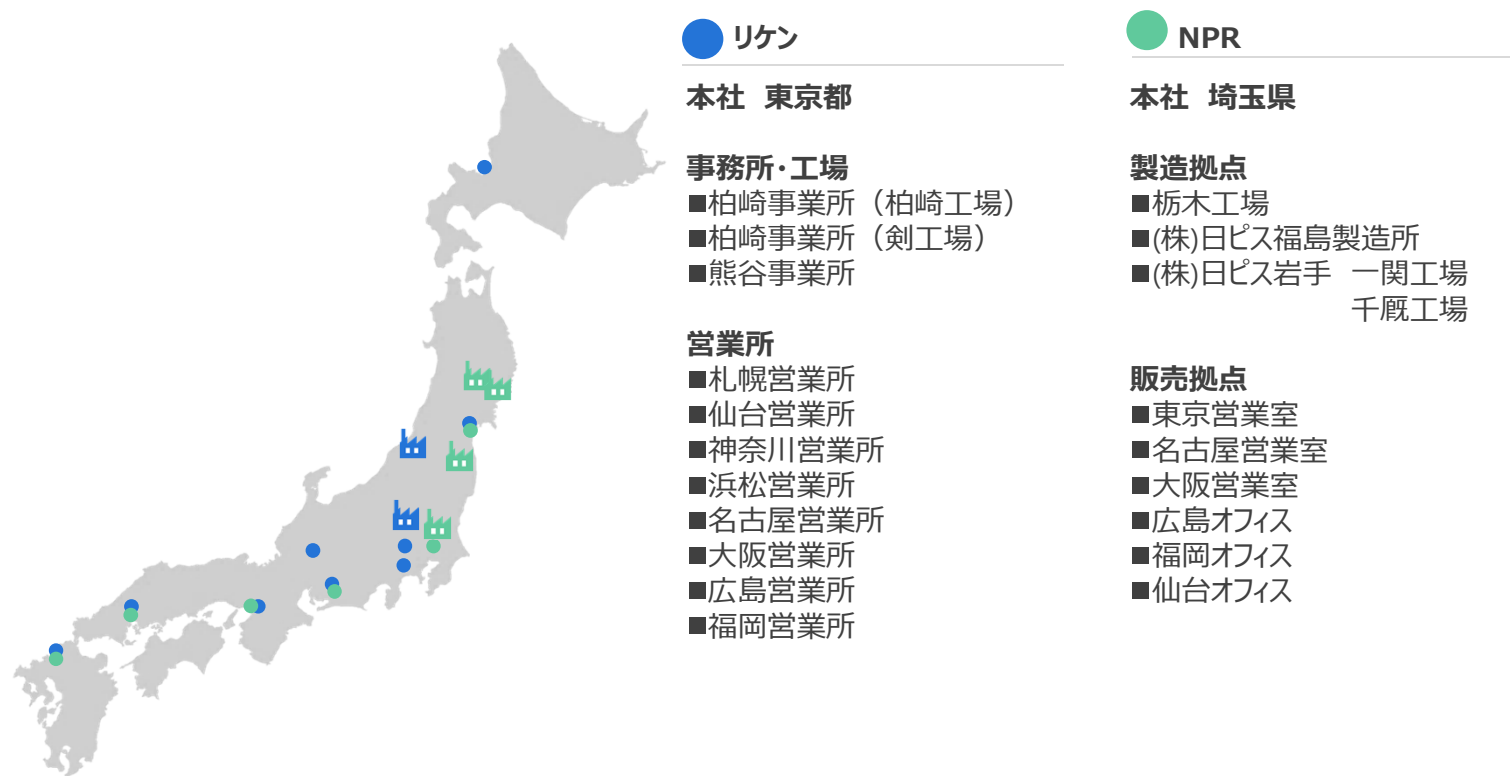


- 燃費改善寄与製品の開発
- 高効率パワートレインシステム実現ソリューションの提供
- 自動化・省人化等による生産ラインの高効率化、使用電力量の削減
- 排熱の再利用による重油使用量の削減
- PPAの導入

II. 統合によるシナジー

3. インフラ・リソース共同利用による業務効率化・コスト削減

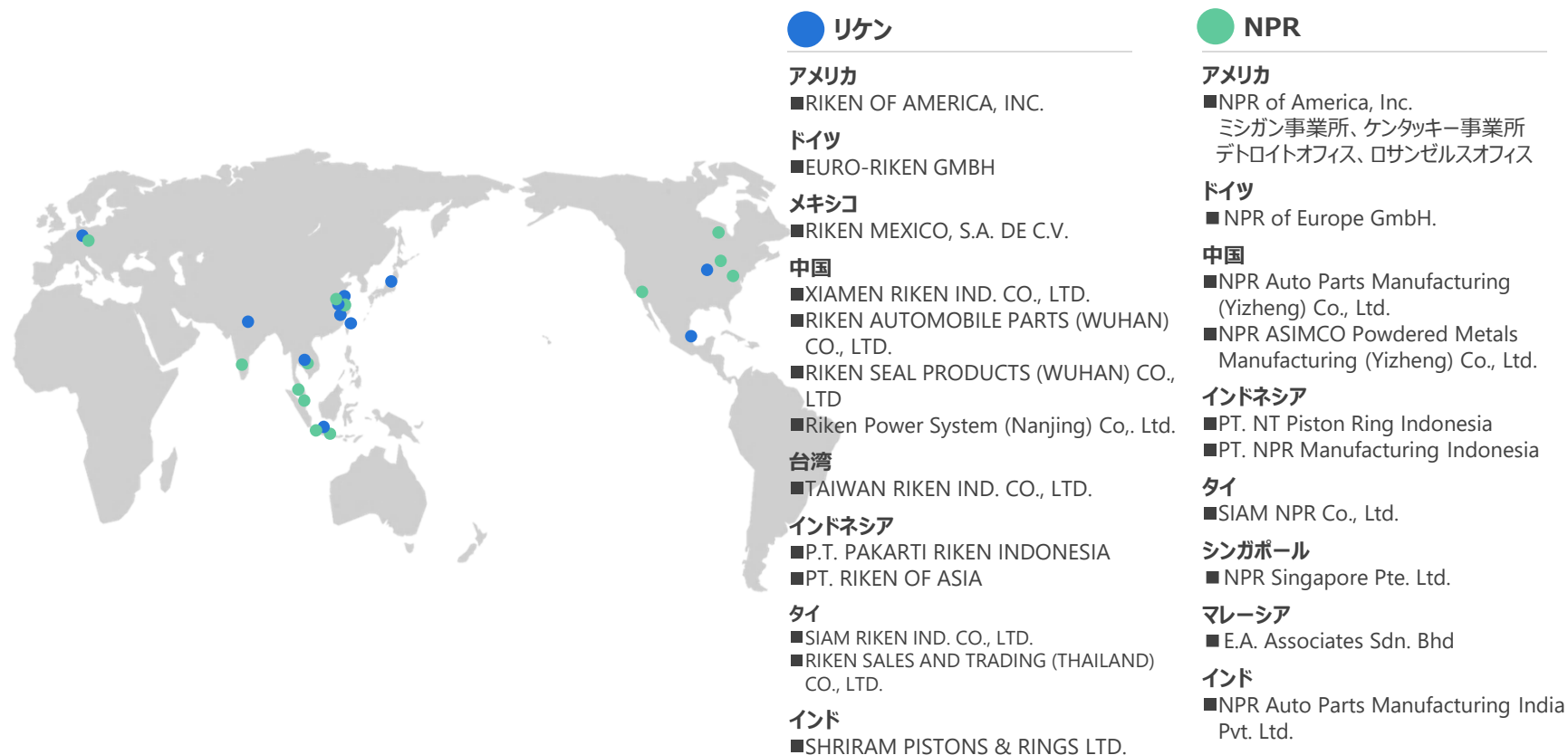
- サプライチェーン全体における生産性向上
- 内製プロセス共通化による外部流出費用削減、共同購買による調達費用削減、重複するシステムや間接業務などの効率化



II. 統合によるシナジー

4. 製品相互補完等による生産効率化を通じた製造コスト削減・供給責任への適時適切な対応

- ・生産拠点最適化を進め、大幅な生産性改善、高品質品を供給できる体制拡充、固定費削減を実現
- ・サステナブルな生産体制確立を通じ、お客様に対する供給責任を適時適切に果たす



II. 統合によるシナジー

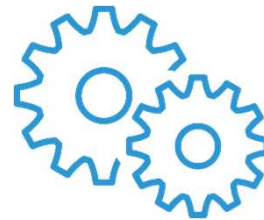
5. 人や技術の交流を通じた人的スキル高度化

- 知見や技術の積極的交流を通じて、双方の強みを生かし「新しいアイデア」が生まれる機会を様々な分野や職階で提供
- 従業員エンゲージメントがよりいっそう高まる職場環境の実現

人材・技術・知見を交差



人材



技術



知見

III. 統合スキーム等

経営統合の要旨

共同株式移転により、共同持株会社であるリケンN P R株式会社を設立



■ 今後の想定スケジュール (予定)

- | | | |
|------------------------------|------------|------|
| • 経営統合に関する基本合意書の締結 | 2022年7月27日 | (本日) |
| • 経営統合に関する最終契約の締結 | 2022年11月 | (予定) |
| • 臨時株主総会 (経営統合に関する議案の承認決議) | 2023年1月 | (予定) |
| • 経営統合の効力発生日
(株式移転の効力発生日) | 2023年4月3日 | (予定) |

経営統合後の状況

商号	リケン P R 株式会社（英文名：NPR-RIKEN CORPORATION）
本店所在地	今後両社にて協議の上で決定
機関及び役員	<ol style="list-style-type: none">1. 機関：監査等委員会設置会社2. 代表取締役は 2 名 代表取締役CEO：リケンの取締役が就任 代表取締役COO：NPRの取締役が就任3. 取締役の構成員：13名 社外取締役の比率を 3 分の 1 以上確保し、コーポレート・ガバナンスコードを踏まえた適切な役員構成
株式移転比率	今後両社にて協議の上で決定

（参考）リケンとNPRの会社概要

リケンとNPRの会社概要は以下のとおり（2022年3月31日現在）

商号	株式会社リケン	日本ピストンリング株式会社
所在地	東京都千代田区三番町 8 - 1	埼玉県さいたま市中央区本町東五丁目12-10
代表者の役職・氏名	代表取締役社長（CEO兼COO） 前川 泰則	代表取締役社長 高橋 輝夫
事業内容	自動車部品及びその他産業用部品の製造・販売等	自動車関連製品、船用・その他の製品の製造・販売等
資本金	8,573百万円	9,839百万円
設立年月日	1949年12月 1 日	1934年12月20日
従業員数（連結）	4,332人	3,027人